

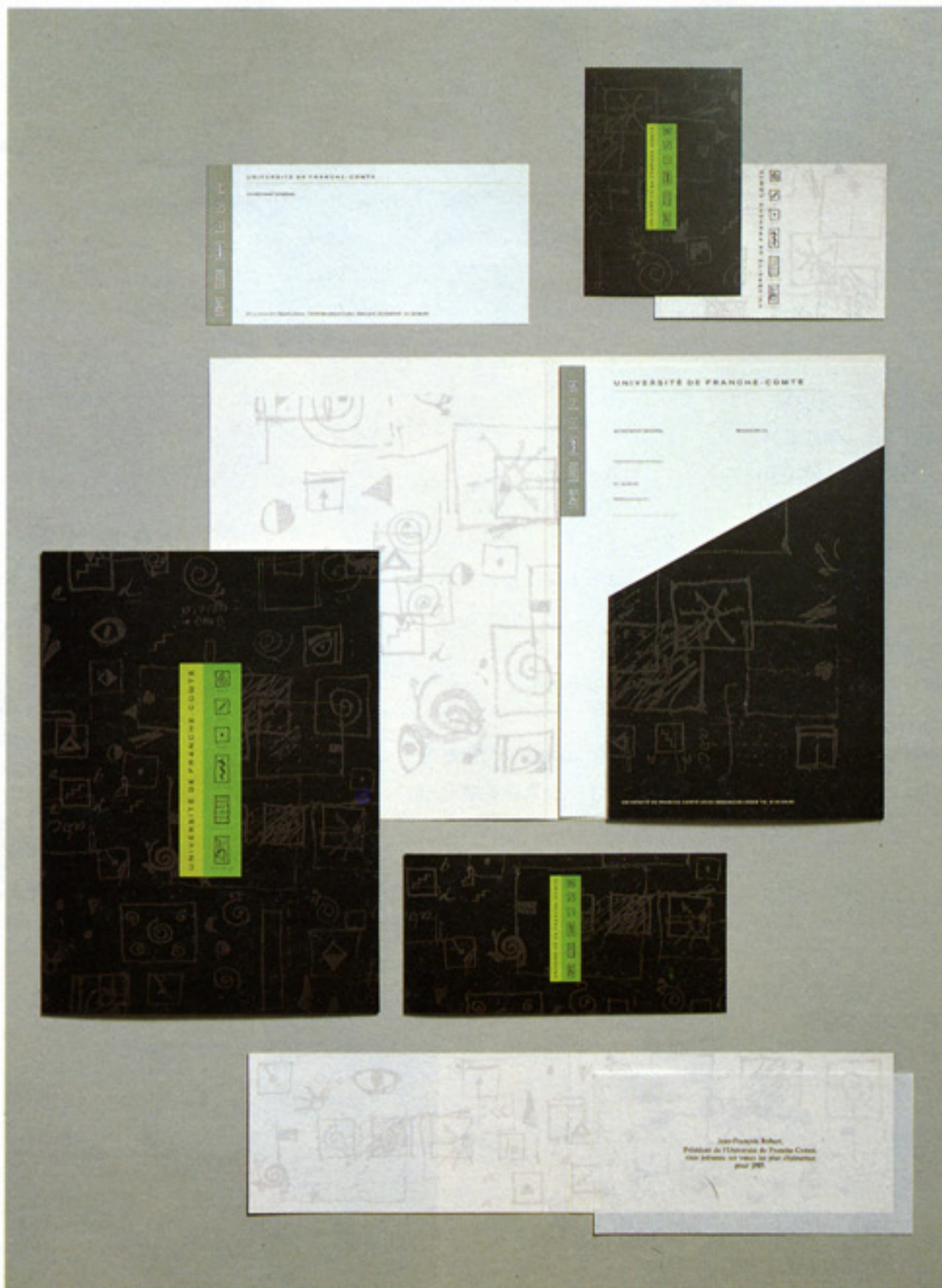
**【グラフィック】**

**●カトリーヌ・ザスクのビジュアルアート**

パリを拠点に活躍するグラフィックデザイナー、カトリーヌ・ザスクの作品を紹介しよう。

ザスクは84年にESAG（グラフィック芸術高等学校）を卒業。舞踏集団「GROUPE MA」や日本でも10月末より発売されている仏シトロエン社の最高級サルーン「XM」のマークを手掛けるなど、「文字のアーティスト」として知られている。セリグラフィー（シルクスクリーン）による独特なタイポグラフィへの評価は高い。

仏東部にあるフランシュ・コンテ大学の“CI”は、彼女がこの5年かけて完成させたという力作。彼女は6学部各々のマークを考案し、大学案内や書類ばさみ、カードなどのイメージ統一を図った。88年度入学の学生はオレンジ、89年度入学者は緑といったように学生証の色を変え、識別性も考慮している。我が国の地方大学でもVI導入がはやりだが、単なるデザイン競争に陥りがち。腰を据えてじっくりとイメージ改革に取り組んだ同大学の姿勢は、ひとあじ違うようだ。



フランシュ・コンテ大学の“CI”。1985年～1990



GROUPE MA 公演のポスター。1987年